

かわさき 図書館だより



図書館ホームページ: <https://www.library.city.kawasaki.jp/>

令和元年度 川崎市立図書館 読書普及講演会

金原瑞人氏『案外知られていない翻訳の話』

川崎市立図書館では、読書の楽しさを知っていただくため、毎年読書普及講演会を開催しています。

今年は法政大学教授で翻訳家の金原瑞人さんをお迎えし、『案外知られていない翻訳の話』と題してご講演いただきます。

金原さんの500点を超える訳書には、絵本から長編小説、有名作品から知る人ぞ知る初めて日本に紹介された作品まで、実に様々なものがあります。また、日本に「ヤングアダルト」「ティーンズ」というジャンルを紹介された方でもあり、10代向け読書案内などの著作もあります。このように海外文学を精力的に紹介されている金原さんに、翻訳の難しさや海外文学の魅力などをお話しいただきます。

講演会に先立ち、川崎市立図書館では金原さんの翻訳作品等を集めた特集コーナーを設けています（分館・閲覧所を除く。期間は各館にお尋ねください）。今年の秋は、海外文学に親しんでみてはいかがでしょうか。

日時 令和元年10月18日（金）
午後6時30分～8時15分

会場 中原市民館 2階 多目的ホール（武蔵小杉駅下車 徒歩5分）

定員 350名（全席自由）

申込み 9月25日（水）午前10時から、いずれかの方法でお申込みください。（先着順）

- 1) 川崎市立図書館・分館・閲覧所にある申込書にご記入の上、各館の所定のカウンターまでお持ちください。整理券をお渡しします。お1人2枚まで。
- 2) 中原図書館（044-722-4932）までお電話ください。2名分まで。

問合せ 中原図書館（電話 044-722-4932）

講師紹介

金原 瑞人（かねはら みずひと）

1954年岡山市生まれ。法政大学教授・翻訳家。訳書は児童書、ヤングアダルト小説、一般書、ノンフィクションなど500点以上。訳書に『不思議を売る男』『青空のむこう』『さよならを待つためのために』『国のない男』『リンドバーグ 空飛ぶネズミの大冒険』、エッセイ集に『サリンジャーにマティーニを教わった』、日本の古典の翻案に『雨月物語』『仮名手本忠臣蔵』など。HPは<http://www.kanehara.jp/>



写真：根津千尋

川崎フロンターレと本を読もう！



馬渡選手による読み聞かせ

川崎市立図書館では、「読書のまち・かわさき」事業の一環として、J1リーグで活躍する地元のサッカークラブ「川崎フロンターレ」との協働により、読書への関心を促進する取組を行っています。

この事業は今年で11年目を迎えました。

読書イベント「フロンターレ選手と本を楽しもう！」

9月15日（日）に、子ども夢パークで「フロンターレ選手と本を楽しもう！」を開催しました。当日は、馬渡選手とひろん太を迎え、小学1～3年生の子どもたちを中心に、選手による絵本の読み聞かせやクイズを楽しんでいただきました。

馬渡選手に読んでいただいた本

『ピーターのおてがみ』（エズラ・ジャック・キーツ／さく）

『へんしんトンネル（大型絵本）』（あきやまただし／作・絵）

リーフレット「キックオフ！読書のまち かわさき」Vol.11

フロンターレ選手が推薦する本を掲載したリーフレットを今年も作成しました。今回のテーマは、「手紙にまつわる1冊」。川崎フロンターレの『クラブ創立23周年特別企画！「23（フミ・文）企画」』にちなみ、手紙にまつわる本を、選手たちがコメント付きで紹介しています。川崎市立図書館で配布中ですので、ぜひ手に取ってご覧ください。



©川崎フロンターレ

かわさき読書週間 イベント情報

10月27日(日)～11月9日(土)は「かわさき読書週間」です！

川崎市では、「かわさき読書の日」（11月第1日曜日）をはさんだ2週間を「かわさき読書週間」とし、図書館や学校などで様々な取組を行っています。今年も読書週間を中心に、子どもから大人まで楽しんでいただけるイベントを開催いたします。ぜひご参加ください。

館 名	日 付	タ イ ト ル
川崎図書館 電話 200-7011	10月中旬～11月中旬	川崎区内の学校図書館ボランティア紹介展示
川崎図書館 大師分館 電話 266-3550 田島分館 電話 333-9120	11月16日(土)	川崎・大師・田島合同企画 おはなしキャラバン
幸図書館 電話 541-3915 	10月17日(木)	大人のためのおはなし会 ～耳から楽しむ「昔ばなし」の世界へようこそ～
	10月25日(金)	10月のおはなし会
	10月28日(月) ～11月10日(日)	幸区内の学校図書館ボランティア紹介展示
	11月 2日(土)	大人のための朗読会
	11月 6日(水)	おはなしワールド
日吉分館 電話 587-1491	10月19日(土)	ストーリーテリング秋のおはなし会
中原図書館 電話 722-4932	10月26日(土)	一般向けおはなし会「絵本が聞こえる！」
	11月 2日(土) ～11月 3日(日)	なかはらこどもとしゃかん「ほんのもり」
高津図書館 電話 822-2413	10月中旬～11月上旬 (工事により変更する場合があります。)	読書週間関連展示
橘分館 電話 788-1531	11月 2日(土) ～11月 3日(日)	リユース本の配布 等 
宮前図書館 電話 888-3918	10月31日(木)	第13回 大人がたのしむおはなし会
	11月15日(金)	ぬいぐるみのおとまり会
多摩図書館 電話 935-3400 	10月26日(土) ～11月 3日(日)	多摩区の読書活動紹介展示
	11月10日(日) 11月24日(日)	多摩区郷土史入門講座
	11月13日(水)	読書普及文化講演会「紺野美沙子講演会」
麻生図書館 電話 951-1305	11月 6日(水)	「秋の親子おはなし会」 ～人形劇を楽しもう～
柿生分館 電話 986-6470	10月30日(水)	おりがみひろば
	11月 6日(水)	秋のおはなし会
教育委員会指導課 電話 200-3243	11月 3日(日)	第17回かわさき読書の日のつどい 「鈴木万里先生（かこさとし氏長女）講演会」

予告なしに変更する場合があります。

申込方法・会場など詳しくは図書館ホームページに掲載しています。

お問い合わせは各図書館（「かわさき読書の日のつどい」）については教育委員会指導課 電話044-200-3243）へ。

岡本かの子生誕130年を迎えて

今年は、現在の高津区内、二子の地で育ち、本市と深い関わりのある作家、岡本かの子の生誕130年の年にあたります。この節目の年に、川崎市立図書館では、かの子を取り上げた行事を開催しています。

特別ミニ講演「岡本かの子と太郎 『生々流転』と多摩川」

岡本太郎美術館の協力のもと、5月26日（日）午後には中原図書館で開催しました。

当日は、学芸員佐藤玲子さんを講師としてお招きし、当時の写真画像とともに、かの子にまつわるエピソードや作品などについてお話しいただき、ご参加いただいた28名の方々も熱心な様子で聞き入っていました。



ミニ講演の様子

企画展示「岡本かの子の文学」

かの子の文学が生まれるまでの背景やその文学に焦点を当てた企画展を開催しています。



中原図書館の展示の様子

写真や関連年表などでかの子の生涯を辿ります。

川崎市立図書館（分館・閲覧所を除く）各館を巡回しており、今後の開催館と期間は次のとおりです。ご来館の際にはぜひご覧ください。

- ・幸図書館：11月23日（土・祝）～12月15日（日）
- ・多摩図書館：令和2年1月25日（土）～2月2日（日）

※川崎図書館、中原図書館、高津図書館、宮前図書館、麻生図書館における展示は終了しました。

第39回

このコーナーでは、川崎をもっとよく知り、もっと楽しむための本を紹介しています。今回は、生誕130年を迎えた岡本かの子に焦点をあてました。



『金魚撩乱』

岡本かの子／著 川崎市市民ミュージアム 平成8年（1996年）

「無意識にのびのびと、美しさと美の生活を成長させて行く女に、衷心愛着を感じつつ、一種の位負けから、男は振れて行く。男は女に対する愛執と競争心から、その女以上の美を創造しようと生涯を賭ける。」とかかの子自身が自作案内している作品です。作者の浪漫的な美意識が表れた作品です。



金魚撩乱
岡本かの子
川崎市市民ミュージアム



岡本かの子全集2
岡本かの子
筑摩書房

『鶴は病みき』（『岡本かの子全集2』より）

岡本かの子／著 筑摩書房 平成6年（1994年）

作者の母性的な純真さとモデルに対する深い愛惜が描かれた作品です。第六回文学界賞受賞。

かの子の文壇デビュー作で、モデルは実際に交流のあった芥川龍之介とされています。

『老妓抄 改版』

岡本かの子／著 新潮社 平成16年（2004年）

発明を志す青年と生活を共にすることにした老妓の生の豊饒への憧れと虚無。作者の文壇での評価を不動のものにした名作です。昭和十三年下半期芥川賞候補。

『家霊』（『岡本かの子全集5』より）

岡本かの子／著 筑摩書房 平成5年（1993年）

「宿命に忍従しようとする不安で逞しい勇気と、救いを信ずる寂しく敬虔な気持ちとが、その後のくめ子の胸の中を朝夕に纏れ合う」江戸情緒を残す明治・大正の時代を映す作品です。



岡本かの子全集5
岡本かの子
筑摩書房



老妓抄
岡本かの子
新潮文庫刊

JR武蔵中原駅に市立図書館の 返却ボックスを設置しました

川崎市立図書館では、7月1日に、新たに図書返却ボックスを南武線の武蔵中原駅に設置しました。今回の返却ボックスの設置につきましては、JR東日本株式会社の御協力により実現しました。駅構内への図書返却ボックスの設置は、本市では初めてとなります。

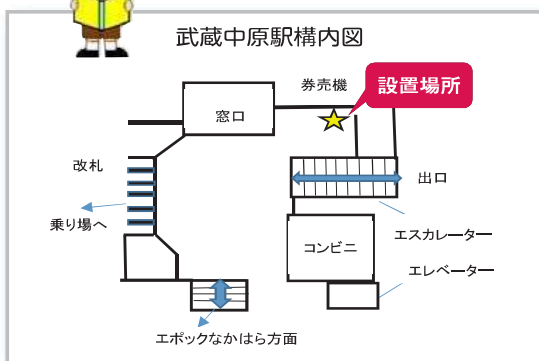
◎ **設置箇所** 駅構内の券売機付近（下図参照）

◎ **利用できる時間** JR武蔵中原駅の初電（朝4時15分頃）から終電（夜0時55分頃）まで

◎ **利用できない日** 年末年始

◎ **その他**

- ・返却本投函後、返却手続きが終了するまでに1日～3日かかります。
- ・川崎市立図書館以外の本は返却できません。また、CD等も破損の恐れがあるため返却できません。
- ・ボックスの収納可能冊数を超えた場合や、駅からの指示などにより利用できない場合があります。



ほかに、現在市内4か所（高津市民館、登戸行政サービスコーナー、鷺沼行政サービスコーナー、有馬・野川生涯学習支援施設）に設置しています。



お問い合わせ先 川崎市立中原図書館
電話番号 044-722-4932

県立川崎図書館が60周年を迎えました ～県立川崎図書館から～

当館は、2番目の県立図書館として昭和34年（1959年）1月に川崎市川崎区富士見に開館しました。当時は技術開発等を支援する県立図書館としての機能と地域住民を対象とした地域図書館の機能を持っていました。

平成7年（1995年）には、川崎駅近くに川崎市立川崎図書館が開館したことにより、地域図書館としての機能を縮小し、平成10年（1998年）には「科学と産業の情報ライブラリー」としてリニューアルオープンしました。

平成30年（2018年）5月には、高津区のKSP（かながわサイエンスパーク）に移転・再開館し、公共図書館として初めて電子ジャーナルを導入するなど「ものづくり技術を支える」専門的図書館としてのサービスを行っています。

そして、今年の1月に開館60周年を迎えました。

このことを記念して、講演会やものづくりカフェ、映画会などの行事を4月から毎月開催しています。

今後の予定としては、11月21日（木）に『小惑星探査機はやぶさ2』とものづくり技術」と題した記念講演会を開催します。元JAXA宇宙科学研究所 安全・品質保証室長／工学博士の清水 幸夫氏をお招きしての講演会となります。参加の申込については県立川崎図書館のホームページ（<https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/>）等をご覧ください。

また、当館の展示スペース「ものづくりギャラリー」にて『はやぶさ2』の技術 ～ものづくり図書館の資料から～ という展示を12月11日（水）まで開催し、「はやぶさ2」に搭載されている「イオンエンジン」などの装置がどのような技術で作られているか紹介しています。

その他、開館50周年以降の特色ある活動・移転作業等を記録した「神奈川県立川崎図書館60年史」や、当館で読みたい・読んでほしい図書を当館と関係のある科学者・研究者・技術者・知財関係者等が推薦する「県立川崎図書館で出会う本～研究者、技術者、司書が選ぶ60冊～」を刊行する予定です。

これからも県立川崎図書館をよろしくお願いいたします。

（神奈川県立川崎図書館 廣瀬 洋）



県立川崎図書館電子ジャーナル・データベースコーナー

編集・発行 川崎市立中原図書館 〒211-0063 川崎市中原区小杉町3-1301 TEL044-722-4932

川崎図書館(200-7011) 高津図書館(822-2413) 麻生図書館(951-1305) 大師分館(266-3550) 橘 分館(788-1531)
幸 図書館(541-3915) 宮前図書館(888-3918) 田島分館(333-9120) 柿生分館(986-6470)
中原図書館(722-4932) 多摩図書館(935-3400) 日吉分館(587-1491) 菅間覧所(946-3271)